

幼小中高一貫教育だより



発行：羅臼町幼小中高一貫教育研究会事務局 平成26年 3月10日 第3号(通算20号)

ユネスコスクール研究発表会

12月11日(水)午前 春松小学校 体育館

町内の幼小中高生が一堂に会し、学習成果を発表しました。

ご来場いただいた町民の方々ありがとうございました。来年も行いますので、ぜひご来場いただき、拍手を送っていただきたいと思います。



春松幼稚園児による「くまがくしゅう」



羅臼幼稚園児による「クマ」

羅臼の動植物やこんぶの生産についての問題を、会場の人たちに出題した小学生の発表は楽しみながら学ぶことができました。意外に知られていない内容に、注目が集まっていました。高校生3人の発表は、話の内容に、人を引き付ける力を感じる素晴らしいものでした。



羅臼小学校



春松小学校

さを発揮しました。この会が始まって3回目です。この発表会を通して、子どもたちが多くの事を学んでいけるように、発展させていかななくてはならないと感じているところです。

ユネスコスクール研究発表会では、羅臼や知床の自然等について知識や理解を深め、疑問なところを発見して、課題を探ったり、他の人にわかりやすく説明する力を伸ばしていけると良いと願っています。この力が、将来の羅臼町や社会を支える力につながると信じています。



サバイティ（こんにちは）と呼びかけ、ラオスを感じさせる衣装をまとい、説明を始める高校生。「ラオス紹介、不発弾問題、子どもセンター」について発表しました。

- 春松小学校 3年生 「知床の自然 紙芝居」
- 春松小学校 4年生 「羅臼のことを伝えよう」
- 羅臼小学校 5年生 「羅臼昆布探偵団」
- 高 校 ラオス スタディーツアー
～「アジアの架け橋事業」に参加して～
- ・北海道羅臼高等学校 藤本 華子(2年)
- ・海星学院高等学校 田野島友紀(3年)
- ・とわの森三愛高等学校 木戸 七彩(1年)
- 春松中学校 2年 島越 冠多・神山 唯生
「知床学から学ぶ知床の自然」
- 羅臼中学校 2年 平田 莉子・藤本こころ
「職業体験学習」

のびのびとした幼稚園児の作品。画用紙に描いた絵を用いて、大きな声でわかりやすい内容で説明をした小学生。プレゼンテーションの形でまとめた中学生。よく準備していて、感情のこもった語りが印象的だった高校生の発表。それぞれの良



脇町長のご挨拶



羅臼中学校



春松中学校



高校生と幼稚園児の交流を通して

～ 優しい気持ちが生まれます ～

高校生は、幼稚園児に喜んでもらうための工夫をしながら、自分の成長の過程を振り返ります。園児は高校生を、自分の将来の姿として感じたり、優しさを感じとったりします。



2013年12月17日羅臼幼稚園、2014年1月22日春松幼稚園において、羅臼高校ならではの学校設定科目3学年「音楽表現」選択生10名による幼稚園発表会が行われました。幼稚園児に楽しんでもらおうと、企画の段階から生徒たちによる選曲や構成を考えていき、練習を重ねました。当日は歌、手話、ハンドベル、ゲームを取り入れた30分ほどのプログラムを企画し、「森のくまさん」、「ドレミの歌」、手話付きの「小さな世界」、ハンドベルでは「見上げてごらん夜の星を」、「Believe」などの楽曲を披露しました。園児たちは、歌の時には一緒に歌ったり、手拍子をしたりして楽しみ、ハンドベルでは高校生の演奏を真剣に聴いていました。またゲームでは通り抜け鬼を行い、一生懸命走っていました。横前さんは、「幼稚園児がわかる歌は一緒に歌ってくれて、手話はわからないなりに真似してくれて可愛かった。保育士という仕事にますます興味がわきました。アニメソングなどもやれば良かった」と自分の演奏を振り返り、内藤君は「今回のような体験は今後ないことだと思う。非常に貴重な経験だった」と振り返っていました。



音楽を通じた交流によって、新たな発見や喜びを感じることが出来た演奏会となりました。

音楽を通じた交流によって、新たな発見や喜びを感じることが出来た演奏会となりました。

中高一貫生徒会リーダー研修会

2月11日、公民館において、中学校・高校の生徒会役員19名が、テーマ「人とかわかり、自分を深める」のもと、研修を行いました。教育委員会の今泉さんをコーディネーターとして、「自分も相手も大切にコミュニケーション」「リーダーシップ」についてグループで話し合ったり、体験する中で理解を深める活動を行いました。生徒会役員が真剣に学び、努力している姿勢は立派でした。羅臼町内の生徒会活動が、楽しく活発なものになっていくことを願っています。



第5回 知床学士検定

昨年12月、中高合わせて16名の受験者がありました。中学生2名の2級合格は優秀な成績でした。1級合格者1名を含む高校生の合格は7名となり健闘しました。この検定は、5回目を迎えました。受験する意義を確かなものにし、魅力ある資格になるように今後も検討を重ねていきます。世界遺産の理解や町の将来の発展につなげたいところです。

